

高瀬神社 社報

越中一宮



第12号

平成19年1月1日

越中高瀬神社

<http://www.takase.or.jp/>

撮影:南部写真館 南部 栄氏



年頭講話

「過ぎ行く年と新しい年に」

宮司 藤井秀弘

新年明けましておめでとうございます。平成十九年の年頭にあたり、まず以て、謹んで皇室の弥栄と氏子・崇敬者各位の御繁栄を祈念致します。

昨年、皇室におかせられましたは秋篠宮悠仁親王殿下が御誕生され、この御慶事に私ども国民等しく歡喜し、感動致しました。

また、伊勢の神宮におかれましては、来る平成二十五年に御社殿・御神宝など全てのものを新しく造り替えられる「第六十二回神宮式年遷宮」の諸祭儀を順次斎行され、五月には第一次の御木曳き行事が盛大に行われました。私も全国から集まった一日神領民の一人としてこの行事に参加しました。元氣な木遣り唄に合せて綱が曳かれ、無事に奉曳を終えることが出来ました。伊勢の街は、参加者の熱誠によって活気に満ち溢れておりました。富山県からは私のほかにも大勢の方がご参加になり、伊勢の熱気を富山に持ち帰って参りました。そのおかげか、(財)伊勢神宮式年遷宮奉賛会富山県本部が順調に設立され、十月十日には富山市のオールドホールにおいて神宮大宮司 北白川道久様、神社本庁統理 久邇邦昭様をお

迎えし、約千名を超える関係者ご参列のもと、結成式を開催することができました。本年からはよいよ募財活動が行われる予定で、氏子・崇敬者の皆様にもご支援ご協力賜りたく、お願い申し上げます。

このように考えますと、昨年は慌しい年ではありましたが、大勢のかたがたのお力をいただいた大きな事業の第一歩を踏み出した意義深い年でありました。また、協力しあうこと、助け合うことが大切であり、このことが大きな力となって物事を動かしてゆくという事を思い知らされた年でもありました。お世話をいただいた皆様に衷心より、感謝申し上げます。さて、平成十九年の新しい年も多忙な日々がやってくるのが予想されます。これを喜ぶか憂うか人それぞれでしょうが、私は喜んで受け入れたいと思います。忙しいということとは自分が必要とされている証拠でありますので、身体を動かせるあいだはこれに就いて参りたいと考えております。「忙」という字は「心がくくなる」と書きますが、忙しいからといって日常の心の眼をなくしてはいけません。家族や職場の同僚を気遣い、庭先の木々や遠

くに見える山々の姿に季節の移ろいを感じる。このような心の眼が顕在であれば、忙しくとも良い仕事ができると思います。冷静に考えて見ますと自分ひとりでは仕上げた仕事というのはいくつあるでしょうか。必ず誰かの協力があって完成しているはずで、忙しい時ほど自省して、これまで支援してくれた人、協力してくれた人々に感謝をすることが大切だと思います。

毎度の如く申し上げている通り、神々に畏敬の念を持ち、自然に学び、人々に感謝するといった「人の道」を大切にしながらも日々過ごすつもりです。その中で良い仕事ができるように努力したいと思います。自分の仕事によって他人を幸せにすることができれば自分自身の心が豊かになります。お互いがそういう気持ちで仕事に打ち込めたら自然と素晴らしい世の中になって行くのではないのでしょうか。

今年(丁亥(ひのとい)の年です。忙しさのあまり猪突猛進、荒武者のようになりそうな年でもあります。あまり深い考えもなしにイノシシの如く目標に向かって突き進む。最近の人はみんな慎重になつてこういう人は少なくなつたように感じますが、いくら、亥年だからといって、わき目もふらずひたすら突き進むのではなく、今年の丁亥の年は、落ち着いて周囲を見渡しながらか前進し、着実に目標に到達する、そんな年にしたいものです。本年も大神様の御加護のもと愈々のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、年頭のご挨拶と致します。

謹賀新年

平成十九(丁亥)年
皇紀二六六七年

宮司 藤井 秀弘

権宮司 藤井 秀嗣

禰宜 齊藤 直巳

全 河合 正登

権禰宜 浦 泰宏

巫女 玉井 千里

全 杉本 絵里香

全 南部 有希

事務員 黒田 三津子

囃 託 岩倉 友子





『新年のご挨拶』

奉賛会長 西 田 東 作

明けましておめでとございます。

平成十九年の新春を迎え、謹んで皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

さて、昨年は富山県神社庁長である当社社の藤井宮司様の猷身的なご尽力と、ご指導により第六十二回伊勢神宮式年遷宮奉賛会富山県本部を立ち上げて、去る十月十日富山市のオーバードホールで伊勢神宮北白川大宮司様、神社本庁久邇統理様を始め、多数の御来賓をお迎えして富山県神社関係者約千名出席のもとに至極盛大な神宮大麻頒布始祭並びに富山県本部結成大会が厳粛に催行されました。その後引き続き十月中には富山支部、高岡支部が次々と結成されて十月二十六日には高瀬神社で砺波支部が結成されました。

この度の御遷宮の総費用は五百五十億円です。その内三百三十億円は神宮司庁で準備され、残りの二百二十億円は一般募金となり、富山県の募金額は三億五千万円となる予定であります。

ます。

特に富山県は神宮大麻頒布率が断トツに高く、全国第一位を永年続けておられると聞いて、藤井宮司さん以下県下各神社の宮司さんや神社関係者の皆さんの熱意に深く敬意を表し、感謝しなければならぬと思えました。私はこの一連の行事に初めて携わらせて頂きましたが、二十年毎に行われる御遷宮に際して、我々の祖先が千三百年前からこの様に神を敬い祖先を尊ぶと言う日本古来の行事をやり通して来た事に深く感動すると共に何と素晴らしい民族であるかと誇りに思いました。私たちはこの精神を受け継いで更に子孫に伝えて行くと言う大切な役目を自覚してしっかりと実行していかねばならないとつくづく考えさせられました。この事を永年にわたり実践されて来られた各神社の宮司さんを始め、お世話を頂いている神社関係者の皆さんに改めて感謝を申し上げる次第であります。

あります。

私は先代の藤井秀直宮司さんにご指導頂いてから毎年四十二歳の厄年を迎えた男子幹部社員を連れて伊勢神宮参拝を約四十年間続けて参りました。『何事のおわしますかほしらねども、かたじけなさになみだこぼるる』と西行法師はこの感激を和歌に詠み、今はなき文豪吉川英治は『こは心にふるさとか、そぞろ参れば旅ごころ、うたた童にかへるかな』とお伊勢様にお参りしたときの感銘を詠いました。

この様に日本民族の信仰の原点であり、お伊勢参りをする事によって日常の俗世界から開放され、人間のあるべき姿に立ち返らせてくれるような清浄感と生命感を与えてくれる伊勢神宮。日本民族の大御祖（おみおや）と仰がれる天照大御神が伊勢神宮の神様なのです。この様に日本人の心の底に流れる心情を人々は『日本の故郷』『心の故郷』を呼ぶのであります。

私は不思議なご縁で伊勢神宮崇敬会の理事として奉仕しているうちに日本文化の源流は伊勢神宮にあると言われていることを身をもって実感しております。神宮では一千五百年前から毎日朝と夕の二回、大御神様に御神饌を御供えされます。木をこ

すり合わせて火を起こす、収穫した野の幸、海の幸、使用後はすべて土に還す食器類など今日便利さのみを追求したために自然破壊を招いている事は一切行われません。総てのものは土に還す、循環型の世界であります。今日我々の家庭で営まれている生活様式も昔は総て神宮様式であったのではないかと想像されます。

御遷宮も莫大な費用がかかって無駄ではないかと言う意見もよく聞きますが深遠なる神の教えは自然の営みの中で総てが生まれ変わる循環型の世界である事に気付くであろうと思えます。木を切った跡には苗を植える、二十年経ったカヤは土に還る、堀建柱にカヤの屋根は二十年毎に新しく生まれ変わり何時も新々しく尊厳を保つ、簡素にして威厳のある建物は外国の建築家の驚異的となっております。素晴らしい神々の智慧の結晶としか思えない世界に冠たる日本の技術であります。このようなことから安倍総理が言う様に日本は心も形も美しい国なのであります。昨年は醜い事件や事故が多発した一年でした。新しい年は日本人らしい美しい心を取り戻し、真の美しい国となるよう努力したいと思えます。

(株)ゴールドウイン会長

神宮大宮司 神社本庁統理 御参拝

御参拝

去る十月十日、「富山県神社庁設立六十周年記念大会」にご出席のため来県された北白川道久神宮大宮司、久邇邦昭神社本庁統理が、これに先立ち当神社に御参拝されました。

権宮司と藤井責任役員が御出迎えし、御案内しました。



例 祭

去る九月十三日、例祭が斎行されました。

宮司祝詞奏上、「浦安の舞」

奉奏につづき、参列者一同でコーラスグループ「ソット・ヴォーチェ」

の伴奏にあわせ「高瀬神社奉賛歌」

を奉唱しました。

御本社につづ

き功霊殿例祭が斎行され、「井波松風会」の吟詠奉納も行われ、御英霊に感謝の誠心を奉げました。

祭典終了後、神社にご尽力いただきました二名に宮司より感謝状が授与されました。

(感謝状授与)

豊川 善治殿

(南砺市)

坪川瀬都子殿

(氷見市)



献茶祭

「第三十三回献茶祭」が去る十月八日斎行されました。

宮司の祝詞奏上につづき、裏千家金澤宗維業躰のお点前により、ご神前に濃茶・薄茶供えられました。

また社務所と参集殿では、「高瀬神社献茶奉賛会」により、濃茶席（裏千家流静和会）・薄茶席（裏千家流となみ同好会）・点心席（裏千家流南砺同好会）が設けられ、多くの愛好者で社頭は終日賑わいました。



新嘗祭

収穫に感謝の誠を捧げる「新嘗祭」が、去る十一月二十三日斎行されました。

砺波地区農業協同組合協議会

から幣帛が供えら

れ佐野俊

之会長(い

なば農業

協同組合

長)が奉

幣使を務

めました。

また、井

波地域中核農業士協議会(金田久志会長)により、献穀田で収穫された「コシヒカリ」と「白酒」がご神前に供えられました。

祭典終了後、篤農家には表彰状、献穀田奉耕者には感謝状が贈られました。

(篤農家表彰)

中嶋 武夫殿(砺波市)

中島 健二殿(小矢部市)

(感謝状授与)

岩崎 宏志殿(南砺市)

(感謝状授与)



社の日むかし

剣道大会

九月十七日、「第四十四回奉納剣道大会」が開催されました。拝殿での奉告祭につづき、外拝殿で昨年優勝の福野中学校二名の生徒による「日本剣道形」が奉納されました。

本年は、あいにくの雨天により、高瀬体育館に場所を移し、団体・個人のトーナメントが執り行われ、終日熱戦が繰り広げられました。尚、試合結果は次の通りです。

《団体の部》

▽小学生男・女

- ①井波剣道スポーツ少年団
- ②B&G砺波剣道スポーツ少年団

▽中学生男子

- ①井波中学校
- ②福野中学校
- ③庄西中学校

▽中学生女子

- ①福野中学校
- ②石動・津沢中学校

《個人の部》

▽小学生男子

- ①青山 虹(井波)
- ②沼田 修秀(井波)
- ③吉井 達哉(福野)

- 水上 真(砺波)

▽小学生女子

- ①山本千菜都(井波)



▽中学生男子

- ①青山 空(井波中)
- ②岩倉 誠哲(井波中)
- ③藤森 大貴(庄西中)

▽中学生女子

- ①松井 理紗(庄川中)
- ②河井 美玖(庄川中)
- ③菅野 百恵(般若中)

▽高校生男子

- ①重原 和希(福野高)
- ②千代 朋之(福野高)
- ③中島賢太郎(砺波工高)

▽高校生女子

- ①伊東あゆみ(福野高)
- ②石井 麻彩(福岡高)
- ③十川 理恵(砺波高)

《平成十九年》
祭事暦

一月 一日	歳旦祭
一月 三日	元始祭
一月 七日	昭和天皇祭
一月 二十五日	天神祭
二月 三日	節分祭
二月 十一日	紀元節祭
二月 十七日	祈年祭
三月 八日	鎮火祭
三月 二十日	春季皇霊祭
四月 三日	神武天皇祭
四月 十日	春季祭
四月 二十九日	昭和祭
四月 二十九日	祈年穀祭
六月 十日	風宮例祭
六月 十九日	夏越大祓
六月 三十日	稻荷社例祭
七月 吉日	入形感謝祭
七月 二十二日	除熱祭
八月 十六日	中禮祭
九月 十三日	例祭
九月 二十三日	秋季皇霊祭
十月 吉日	献茶祭
十月 吉日	村祭り
十月 十七日	神嘗奉祝祭
十一月 三日	明治節祭
十一月 十三日	神明宮例祭
十一月 十五日	七五三祝祭
十一月 二十三日	新嘗祭
十二月 二十三日	天長節祭
十二月 三十一日	師走大祓
全	除夜祭

◎毎月一日・十三日 月次祭
◎毎月十三日 交通安全祈願祭

迎春

株式会社ゴールドウィン
代表取締役会長 西田 東作

セندان電子(株)
代表取締役会長 武田 修
代表取締役社長 武田 武美

砺波市庄川町五ヶ四四〇
TEL(〇七六三) 八二五二一三〇

祝儀料理
鮮魚仕出し **福光屋**
南砺市山見一七二〇
TEL(〇七六三) 八二一五〇八二(アズモ店)
八二一〇七〇六(住出し部)

越中一宮高瀬神社指定
南部スタジオ
南砺市山下二七七
TEL(〇七六三) 八二一〇一三〇

宝石・記念品
あづちや
南砺市本町三十四八
TEL(〇七六三) 八二一〇三六六

社のにぎわい

村祭り

去る十月九日、「村祭り」が斎行されました。

氏子六十名が参列し、神恩に感謝の誠を捧げました。引き続き参集殿で行われた直会では、有志による太鼓も披露されました。

祭典に先立ち、「こども神輿」が高瀬町内を巡行し、三十名のこどもたちが「ワツシヨイ」と元気な掛け声で神輿を曳きました。



さとも茶会



去る十二月三日、高瀬遺跡保存協会（竹村武夫会長）主催の「里芋おはぎ茶会」がに開催されました。

「里芋おはぎを作る会」の七名の作り手により、収穫されたばかりのサトイモともち米で「おはぎ」五百個が調製されました。井波茶道同好会（住田宗音代表）による茶席では、収穫に感謝しながら伝統の味を満喫していました。

迎春

婚礼着付

ノビアデサロンみたに

南砺市北川一八五二
TEL (0763) 8110411
<http://www.salon-mitani.or.jp>

巻御所落雁本舗

河内屋菓子舗

南砺市本町一の三四
TEL (0763) 8110401

ブライダルサロン

アマノ

高岡市大手町二一八(定塚町通り)
TEL (0766) 241412

株林クリーニング

南砺市本町三丁目一四番地
TEL (0763) 8110289

全国にあなたの花をお届けします

花キープピット

ミナミフラワーショップ

アミ店 TEL (0763) 1116388
FAX (0763) 1116388

迎春

田島のし店

砺波市本町七一四
TEL (0763) 3112510

菓子工房 大樹

砺波市宮丸一三三
TEL (0763) 3113966

牧印刷株式会社

南砺市理休三三三
TEL (0763) 1621011
FAX (0763) 1621833

株ジオミックス

広告事業部PRプランニング

小矢部市下中一三八
TEL (0766) 6711867

看板とイベント・宣伝のオーバル

砺波市庄川町金屋一三〇五
TEL (0763) 8114122

参拜日誌抄

(敬称略)

(平成十八年九月～十二月)

「九月」

五日

明治神宮崇敬会
理事長 戸澤 眞

七日

高取神明宮

宮司 鈴木 閑 以下二十三名

九日

功靈殿奉斎会役員会

一〇日

南砺市遺族会井波支部

福野支部(清掃奉仕)

一一日

福光社会福祉協議会

一二日

氏子清掃奉仕(村総出)

一三〇日

日枝神社宮司 平尾 昌明

一八日

第四四回奉納剣道大会
(奉告祭)

一九日

八坂神社欄宜 松尾 樹
美鈴

二二日

南砺市交通安全協会
(秋の交通安全祈願祭)

普明会教団福野支部

二四日

(株)登健(福井県) 一六名

二六日

三重県神社庁伊勢支部

支部長 田端 勇 以下七三名

二七日

神社庁東西砺波支部

神社総代会東西砺波支部

「十月」

五日

普明会教団福野支部

六日

神社庁東西砺波支部役員

七日

富山県立砺波高等学校
(学業成就・合格祈願)

一〇日

神宮大宮司 北白川道久

神社本庁統理 久邇邦昭

一四日

立正佼成会(清掃奉仕)
一五日

神社庁東西砺波支部役員

一九日

池田グループ 代表池田喜紀

二三日

普明会教団高岡支部

二六日

神社庁東西砺波支部

(神宮大麻頒布始奉告祭)

(神宮式年遷宮富山県本部
砺波支部結成式)

二九日

読売茶会

「十一月」

六日

國學院大學 岡田幹雄

七日

石川県神社庁

庁長 厚見益樹

主事 舩木清崇

丹波国一宮出雲大神宮

宮司 岩田昌樹以下 三二名

一一日

普明会教団福野支部

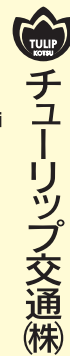
一二日

大地主神社(七尾市)

氏子一同 一八名

迎春

となみ野を便利に結ぶ...



チューリップ交通株

本社 八丁一六九 砺波営業部 三三三
貸付部 八二八 旅行部 八二七

蓄暖 電気温水器 販売・施工

(有)森田電気商会

南砺市高瀬五七三
TEL(〇七六三)八二一〇六九一

神社仏閣建築設計施工

創業文政年間
森田建設株式会社

代表取締役 森田市五郎

小矢部市鷺島一七五
TEL(〇七六六)六七一〇〇六九

青果・食材
フルーツギフト

中村屋

南砺市山見四四二一
TEL(〇七六三)八二一〇〇三五

あなたの街のでんきやさん

ニューイングランドたかた

南砺市山下(井波行政センター前)
TEL(〇七六三)八二一〇二二七

献穀田だよ

● 抜穂祭斎行

九月十八日、井波地域中核農業士協議会（金田久志会長）による「抜穂祭」が、本年奉耕者の岩崎宏志氏の水田で斎行されました。

五名の早乙女（岩崎裕香さん、中山茉莉耶さん、高桑由圭さん、畑詩織さん、崎田弥生さん）により、豊かに実った「コシヒカリ」の稲が刈り取られ、金田久志会長に手渡され、十一月二十三日の新嘗祭で御神前にお供えされました。



● 初穂曳奉仕



「第三十四回初穂曳」が十月十五日・十六日の両日にかけて、三重県伊勢市で行われ、井波地域中核農業士協議会の金田久志会長ご夫妻・齊藤欄宜の三名が参加し、献穀田で収穫した「コシヒカリ」の稲束を伊勢の神宮へ納めました。両日共に天候に恵まれ、「二日神領民」として神恩感謝と更なる五穀豊穡をお祈りしました。



ご結婚おめでとうございます

平成十八年九月から十一月までご婚礼の御儀を執り行われた皆様です。
(挙式日、時間順)

- | | | | | | | | |
|--|--|---|----------------------------|------------------------------|---|--|---|
| <p>一四日 高羽 優算様
幸恵様</p> <p>一五日 京角 貴宏様
志津香様</p> | <p>七日 渡辺 寛樹様
昌子様</p> <p>生駒 陽介様
真実様</p> <p>中川 浩之様
美雪様</p> | <p>一日 (十月) 岩倉 宏宗様
代志美様</p> <p>小林 堅介様
香様</p> <p>横田 智大様
香織様</p> | <p>二三日 嶋田 敬夫様
真樹子様</p> | <p>三日 (九月) 川邊 泰様
和美様</p> | <p>五日 (十一月) 清澤 文雄様
清美様</p> <p>梅木 昭宏様
由美子様</p> | <p>二五日 千代 涉様
智恵美様</p> <p>二六日 鶴居 豊樹様
かをり様</p> | <p>一日 岩倉 宏宗様
代志美様</p> <p>小林 堅介様
香様</p> <p>横田 智大様
香織様</p> <p>二五日 千代 涉様
智恵美様</p> <p>二六日 鶴居 豊樹様
かをり様</p> |
|--|--|---|----------------------------|------------------------------|---|--|---|

ご新郎ご新婦の末永いご多幸とご両家益々のご繁栄をお祈り申し上げます。

越中一宮 高瀬神社 和装体験フェア

予約優先

1月28日(日)
AM10:00~PM5:00

AM10:00~ 神前式説明会
PM2:00~ 模擬結婚式

婚礼商品展示・お見積相談 和装試着・カツラあわせ など

～豪華!ご成約特典～
フェア開催日にご成約の方…

“縁結びぜんざい”サービス
どうぞお気軽にお越し下さい



お知らせ

一月二十八日(日)に行
います模擬結婚式のモデル
さんを募集いたします。

住所・氏名・電話番号を
ご記入の上、全身が写った
写真を同封し、

〒932-1025

富山県南砺市高瀬二九一

高瀬神社 結婚式場

担当黒田まで、

封書でご応募下さい。

締め切り：一月十五日(月)

モデルをお願いする方には、
後日お電話にてご連絡を致
します。

なお、ご応募いただきま
した写真は郵送にて返却さ
せて頂きます。

平成19年厄年

本年は次の通りです。

- (男性)
- 25歳 前厄 (昭和59年生)
本厄 (昭和58年生)
後厄 (昭和57年生)
 - 42歳 前厄 (昭和42年生)
本厄 (昭和41年生)
後厄 (昭和40年生)
- (女性)
- 19歳 前厄 (平成2年生)
本厄 (昭和64年生)
後厄 (昭和63年生)
 - 33歳 前厄 (昭和51年生)
本厄 (昭和50年生)
後厄 (昭和49年生)
 - 37歳 前厄 (昭和47年生)
本厄 (昭和46年生)
後厄 (昭和45年生)

戌の日 (安産祈願)

- 1月 4日・16日・28日
- 2月 9日・21日
- 3月 5日・17日・29日
- 4月 10日・22日
- 5月 4日・16日・28日
- 6月 9日・21日
- 7月 3日・15日・27日
- 8月 8日・20日
- 9月 1日・13日・25日
- 10月 7日・19日・31日
- 11月 12日・24日
- 12月 6日・18日・30日

御案内

「節分祭」

二月三日 午後三時齋行
ご家族お揃いでご参列下さい。



「元服祝 (男子)」

十五歳 (平成五年生)

「髪上祝 (女子)」

十三歳 (平成七年生)

「奉納」

○菊花鉢

砺波市庄川町青島 島田 洋一

平成十八年十一月一日

○菊花鉢

南砺市北市 橋場 哲也

平成十八年十一月一日

「なでのおさぎ」

御祭神の大国主命(大国様)は、神話「因幡の白うさぎ」において、過ちを犯し体に傷を負った「うさぎ」のケガを癒され悪しき心をも改心されたと記述されております。

この神話に因み、大国主命の



御神徳を広くご参拝の方々にお受けいただくために、寒さ暑さに耐えて日夜頑張っています。毎日多くの参拝者になでられたいため、色の変わつたところもありますが、外拝殿より皆様を見守っています。

どうぞ、拝殿正面にて参拝祈願された後に、ご自分の癒してもらいたい部位と同じところを祈念しながら撫でて、宏大無辺なる大神様の御加護を授かりましょう。

編集後記

新年あけましておめでとうございませう。

昨年は秋篠宮悠仁親王殿下の御誕生に、国民一同喜びに湧きあがりました。当社におきましても社頭に懸垂旗を掲げ、氏子崇敬者の皆様と共に祝意を表しました。

平成十九年の初春を迎え、高瀬の大神様の御加護を戴かれまして、より豊かな年になりますようご祈念申し上げます。

【表紙写真】

初詣で賑わう御社頭と宮司による新年初祈禱。